DISTRICT 2500
OBIHIRO ROTARY CLUB
80th
No.3091
第3409回例会
平成26年9月24日

方針　歴史と伝統、新たなページへ
会長　合田倫佳

2014－15年度国際ロータリーのテーマ　ロータリーに輝きを

出席報告
9月7日例会　会員総数91名（内免除会員5名）
出席者数 50名
欠席者25名（出免0名）
0　91（名）
メークアップ 16名

■「プログラム　講話」　RI第2500地区ガバナー　奥　周盛　様

2014－15年度のRIテーマは「ライトアップロータリー　ロータリーに輝きを」です。これは今年度のゲーリー・C・K・ホアン会長が掲げている今年度のテーマです。ホアン会長は台北ロータリークラブの会員で中国人としては初めてのRI会長です。

このRIテーマ「ライトアップロータリー」が意味するところは、既に皆様がご存じのようにこれは2500年前の中国の孔子の言葉を引用したものです。「ただ座って暗闇を呪うよりもローソクを灯したほうがいい」という孔子の教えに基づいています。この考え方がロータリーの考えを端的に表しています。一人のろうそくが、そして皆のローソクが広がれば周りを明るくすることができるということです。世界中に120万人のロータリアンがいます。皆でローソクを灯せば世界を明るくすることができる、ロータリーの奉仕活動を世界で実践しましょうという事を、「ロータリーに輝きを」の中でおっしゃっているのだと思います。そしてもう一つホアン会長が孔子の言葉を引用している中に「まず自分の行いを正しくし、次に家庭を整え、次に国家を治めてこそ世界が平和となる」と言うことです。論語の中に「修己　斉家　治国　平天下」という言葉があります、これは文字を見ても明らかなように「己を修める、家を整える、国を治める、天下たいらか」と言う事で、この思想がロータリーの考えと非常に近いとホアン会長が話しています。

オブジェクト・オブ・ロータリー（ロータリーの目的）の中に「ロータリアンの一人一人が個人として、また事業及び社会生活において日々奉仕の理念を実践する事」と言う項目がありますが、ロータリーは個人奉仕（I serve）というのはこれに基づいています。ロータリーは団体奉仕ではなくて個人奉仕が集まった団体であると言われる所以です。またもう一つ「奉仕の理念で結ばれた職業人が世界的ネットワークを通じて国際理解・親善・平和を推進する事」我々の奉仕の理念を世界で実践する事によって世界平和につながるという事も謳われています。先ほどお示ししました孔子の言葉「修己・斉家・治国・平天下」の意味するところと、ロータリーで言うI serveの理念がまさに共通しているところです。孔子の教えは2500年前ですから、このロータリーの理念と一致する事を言っている孔子はまさに「元祖ロータリアン」であるとホアン会長はおっしゃっています。もちろんホアン会長の中国人としての誇り、民族としての誇りが感じられるものです。

この論語の教えをいろいろ紐解いていくと、もっともっとロータリーの基本理念と近いものが数々あります。ロータリーのもっとも基本的な教えは「仁」です、意味するところは「他人に対する思いやり・他人を慮る心」を非常に大切にするのが孔子の教えであると書かれています。まさしくこれはロータリーの「利他の心」これがさらに大きく広がれば「超我の奉仕」というロータリーの第一標語につながり、まさしく同じ事です。次に「君子」という言葉ですが、これは徳を修めた理想的なリーダーの事を孔子は言っているのですが、ロータリーではまさにリーダーシップを日々ロータリー活動の中で日々我々は積んでいるのです。職業倫理を身につけ、あるいは高潔性を大事にした中でロータリアンとしての品位、そのようなものを我々は磨いていると言うのがロータリーライフではないでかと考えると、我々はまさしく「君子」を目指しているのかもしれません。「友人」（ともと読みます）と言う言葉は、孔子の教えを身に付けた仲間と言う意味があります。つまり弟子の事です。さてロータリーにおいてはどうでしょうか。我々は親睦を大切にしながら一つの出会いを大事にして仲間の絆を深めあっています。この友情というものを我々は大切にしています。やはり「友」なんです。ロータリーの友情は奉仕の理想、奉仕の理念をともに分かち合う、ともに理解した中で一生懸命活動する仲間の事を言いますが、これはまさしく論語における「友人」に共通するものです。次に「学習」という言葉には「学ぶ・習う」2つの意味があります。「学ぶ」は歴史を学ぶ、先人の知恵を知るという事です。「習う」は学んで得た知識を繰り返すという意味です。繰り返す事でしっかり自分の身につけるという事です。繰り返す事で習慣になるという「習」の字であり、あるには学んだ事を継承していく事によって慣習になる「習」の字でもあります。学習と言うのはそのような意味だという事です。我々ロータリーは研修と言うものを日々重ねます。ロータリーの研修で学ぶことは、ロータリーの歴史を学ぶ事でもありロータリーの先人の知恵を知るという事でもあります。ロータリーには3賢人と言う人達がいます。「フランク・コリンズ」「アーサー・シェルドン」「チェスリー・ペリー」の3人です。ロータリーの第一標語「超我の奉仕」の言葉を残したのが「フランク・コリンズ」です。「アーサー・シェルドン」は第二標語「最も奉仕するもの、最も多く報いられる」を残しました。「チェスリー・ペリー」はロータリーの組織を作った人と言われています。ポール・ハリスの片腕として事務総長を30年間務め、120万人のロータリアンの礎を作った人です。また「4つのテスト」を作った方「ハーバート・テーラー」。このように我々の奉仕の考えは歴史から学びあるいは先人の知恵から我々が今日学習しているものです。次に「中庸」と言う言葉です、これは価値観のバランスが大事であるという事です。ロータリーでは「利己と利他の調和」と言う言葉があります。人間だれしも我を持っています、しかしそれだけでは人間関係はうまくいきません。だから利他の調和、利他の心が大事だという事です。それが先ほど説明しました「仁」にもつながります。これがさらに「超我の奉仕」になるわけです。ロータリーでは2つの価値観だけでなくもっともっと多様性を大切にしています、「多様性」が意味するところは「個性」を大事にするという事です。個人を尊重するという意味があります。ロータリーがもし多様性と言うものを受け入れないのであれば今日のロータリーは存在しなかったでしょう。世の中では「国、民族、宗教、政治」等の価値観が違ったら必ず争いが出てきます。摩擦が生じます。しかしロータリーはこれをすべて受け入れています。だから多様性があるのです。これを受け入れていなければ、世界に広がるロータリーと言うものはあり得なかったでしょう。ただこの多様性だけではだめで、そこで大事なのは「寛容」と言う考えです。相手の立場を考えた上で物事にはどこかで妥協する部分、あるいはお互いに譲り合う部分が必要です。「多様性」と「寛容」がロータリーにおいても大切な考えになっています。

次に「天命」と言う考えですが、これは人間だれしも天から授かった使命と言うものを持っている、それを大切にしましょう、人の命と言うのはすべて平等に大事なものであり価値のあるものだから、自分の人生を大切に生きましょうという教えです。ロータリーの言葉でいいかえれば「天職」です。

我々には天から授かった聖なる職業を皆さんは持っています。職業には上も下もありません。全て世に役立つ職業というものは全て大事な職業であるという事は、ロータリーの「職業宣言」で謳われています。そしてこの職業を自ら卑しめてはいけないという考えが職業倫理につながり、高潔性を大切にしなければならない、だから職業と言うのは大切で職業を通して地域社会に貢献しましょうという考え

が「職業奉仕」と言う言葉につながっています。

ここまで縷々言ってきた事は、「ロータリーの戦略計画」における中核的価値観と言うものが「親睦、高潔性、多様性、奉仕、リーダーシップ」であるという事、これが非常に論語の概念と似ているという事なのです。似ているという事は両方とも実践哲学であるという事です。日ごろの平時で生かす哲学だという事です。その中核的価値観はどのような行動なのかと言うと以下の4つの文章です。

「私たちは**親睦**を通じて生涯にわたる友情を育み、国や文化を超えた理解を促します」

「私たちは**高潔性**を持って約束を守り抜き、倫理を守ります」

「**多様性**を誇るロータリーは様々な考え方をつなぎ多角的なアプローチで問題に取り組みます」

「私たちは奉仕を通じて**リーダーシップ**と職業のスキルを生かし地域社会の問題に取り組みます」この4つ文章が我々の活動すべてに当てはまると思われますので紹介いたしました。

「ロータリーに輝きを」ということで私は3つの事を地区活動指針として挙げています。

「ロータリーを輝かせるのはクラブの元気」

「クラブを輝かせるのはロータリアンの行動」

「ロータリアンを輝かせるのは奉仕の喜びと感動」

やはりロータリアンの輝きと言うのが最も根源的な部分であろうと思います。そこで皆さんにはロータリーモーメントを紹介します。モーメントは「動機」、「きっかけ」と言う意味もあります。ロータリーをやっている「きっかけ」と言うのは何なのかと個人個人が一度考えてみるとどうでしょうか、これは3分間スピーチのプログラム中で実施されるものです。私もこのような紹介をアメリカでの研修の中で行いました。私が1つだけ紹介したのがクラブ会長をした時に「マッチンググランド」という世界社会奉仕事業についてでした。外国のロータリークラブとパートナーを組んで外国で人道的奉仕活動を実施するというものです。私の場合は相手の国はタイの3330地区のロータリーでそこのナコンスリーという町のクラブと一緒になって障害児のための移動教室を実施しました。識字率向上のため移動教室で障害のある子供たちに文字を覚えてもらう、そうする事で子供の世界を広げてあげる、夢、希望を広げてあげる事が出来る。そのような識字率を上げる事で出来る人道的奉仕活動は非常に意義のある活動でした。この時の子供たちとの触れ合いの感動が私のロータリーモーメントであります。

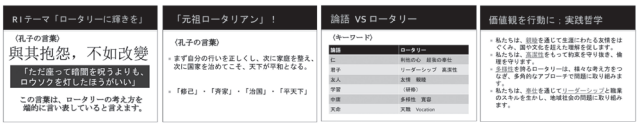
クラブの輝きは「会員基盤の安定」「豊かなアイデア」「プロジェクト」「公共イメージの認知度」などが重要です。これらの好循環が生まれしかも持続性がある事がクラブが輝いている事ではないでしょうか。これらの要素の中で常にアクションを起こさなければいけないのです。行動しなければいけないという状況の中で初めて持続性が生まれる、それがクラブの輝きだと思います。

「効果的なロータリークラブ」と言う言葉があります、これはCLTという手続き要覧の中に出てくる言葉ですが、ここにも「会員基盤をしっかりしましょう」「奉仕プロジェクトを実施する事」「ロータリー財団を支援しよう」「リーダーを育成する」これが持続するための輝くロータリークラブのために「効果的なロータリークラブ」の中に書かれてある内容も重要だと思います。

最後になりますが国際ロータリーが最も力を入れている事業が「ポリオ撲滅」です。

またロータリー財団は意義のあるお金の使い方をしていますので是非資金のご協力をお願いしたいという事、それから米山資金奨学会は日本独自の国際貢献活動でもあります。これに対してのご協力もお願いします。また各種会合への参加、ロータリーは参加する事で親睦が生まれ、その奉仕活動へつながりますので例会だけでなく、様々な会合への参加を是非積極的にお願いします。

地区大会の成功とサンパウロでの今年度の国際大会への参加をお願いして卓話を終わります。



■会長報告　　**合田　倫佳 会長**

本日は奥周盛ガバナー公式訪問例会です。当クラブが66番目の訪問で残すところあと2クラブです。本当にお疲れ様でした。本例会前には会長・幹事懇談会、クラブ協議会も終了しました。

プログラムの中で奥ガバナーの今年度の思いを時間いっぱいお話しいただく予定です。

先週9月20日、21日と帯広にて北海道ローターアクト交流会が開かれました。交流会は2500地区と隣の2510地区の親睦を目的とした会で、道内16のRACの参加で行われました。交流会は平成12年より行われていると聞いています。本年度は、遠くは2840、2650、2610、2580地区の道外の各地区からもアクターやロータリアンが数多くいらっしゃいました。懇親会に参加させていただきましたが、若者の熱気にエネルギーをもらった感じがしました。来年は京都にてアジアのRACの大会が行われる予定です。

■会務報告　　**倉野　　賢 幹事**

①2014－15年度RI第2500地区 地区大会 開催のご案内
　日　時　平成26年10月10日（金）～10月12日（日）
　第1日目（10/10）：記念親睦ゴルフ大会
　8:30スタート　帯広国際カントリークラブ
　第2日目（10/11）：本会議第1日
　9:00受付　10:00～帯広市民文化ホール
　大会記念大懇親会 18:00～ ホテル日航ノースランド帯広
　第3日目（10/12）：本会議第2日
　8:30受付　9:00～帯広市民文化ホール
②帯広西RC、夜間例会開催のご案内（ガバナー公式訪問）
　日　時　9月25日（木）午後6時30分
　場　所　北海道ホテル
③帯広南RC、9月29日（月）の例会は、休会と致します。

■ゲスト紹介　　**RI第2500地区ガバナー　奥　周盛 様**
第6分区ガバナー補佐　川田　章博 様
地区幹事　奥原　宏 様

■委員会報告

・ニコニコ献金

奥　周盛 会員
　ガバナー訪問のお礼

合田　倫佳 会員
　奥ガバナー、川田ガバナー補佐をお迎えしての例会です。クラブ協議会までは無事終了しました。ありがとうございます。

太田　隆博 会員
　おかげさまでテーブル100%出席になりました。

・出席報告

9月24日
会員総数91名（内免除会員5名）　出席者数65名（内出席免除会員1名）
9月7日例会のメークアップを含む出席者総数及び出席率
66名　76.8%

■ご本人誕生記念日祝

高原　　淳 会員　　讃岐　武史 会員

■結婚記念日祝

高原　　淳 会員

■次週プログラム予定

10月1日（水）「米山記念奨学会事業の理解と発展」（米山記念奨学委員会）
RI第2500地区米山記念奨学生　呉（ゴ）　孟勳（モウシン） 様　卓話

↑携帯サイトができました。バーコードリーダーで読み込む事ができます。

例会日 / 水曜日 12:30 ～ 13:30　　例会会場 / ホテル日航ノースランド帯広　TEL0155-24-1234
●創立 / 昭和 10 年 3 月 15 日　●認証番号 /3820　●戦後再開 / 昭和 25 年 12 月 19 日
●事務局 / 帯広市西 3 条南 9 丁目 経済センタービル 4F　TEL0155-25-7347　FAX0155-28-6033
●発行 / クラブ広報
●委員長 / 飛岡　　抗・副委員長 / 三浦輝世典
　委　員 / 河村　知明・小林　一夫・横尾　俊輔・猿川　陽介・日浅　尚子
●ホームページアドレス /http://www.obihiro-rc.jp